平成 25 年 8 月 31 日
全　日　青　年　部
副会長　須 田 敏 行

中部電気工事業組合連合会青年部

第 24 回各県青年部交流会参加報告書

1．開催趣旨

中部電気工事業組合連合会青年部唯一の事業として，組合の同世代会員が一同に集い，業界の変革や今後の企業経営を見据えた交流を築く。また, 今回は現役の工業高校生に同席いただき, 未来に向けての魅力ある電気工事業界について認識いただくためのアピールの場とする。

テーマ 「語ろう！　未来！　魅力ある電気工事業」

2．開催場所･日時

開催日時 ： 平成 25 年 8 月 24 日(土) 13:30
会場　　 ： 三重県四日市市　四日都ホテル
出席者数 ：139 名の(うち、四日市工業高校生 24 名　2 年生 10 名　3 年生 14 名)

3．内　容

⑴ 開会式

開会挨拶、来賓挨拶(別紙参照)
須田も全日青年部副会長として挨拶

⑵ 魅力ある電気工事発表

三重県、岐阜県、静岡県、長野県、愛知県の 5 県それぞれ 10 分間で電気工事の魅力を発表。
・愛知県～高校生と技能協議対決，高校生の配管技術に驚く。
・静岡，岐阜，長野県～パワポイント，動画作成による発表。
動画作成の技術もさることな、伝えたいことなどのポイントがしっかりしている。
・三重県～建物の新築工事の過程を写真で説明しながら，実際の工事を実演して説明。
高校生にも解りやすく，飽きさせない工夫は見事。（結果，最優秀賞）

⑶ テーブルディスカッション

テーマを「**未来**」に全 12 卓に高校生が 2 名づつ入り，電気工事業界の素晴らしさを語らいあう。
設問 1 から 3 に沿って行った。(別紙参照)
・高校生からの質問
質問 1 「きつい，汚い，給料が安い」と言うイメージがあるがどうだろう？
回　答　就職してすぐ一人前にはなれない。一人前になるまでの間は修行のような
ものだから仕方が無い。(実際に高校生は初任給がどの程度か知らない。)

質問 2　電気工事のイメージは電柱に昇って仕事をするイメージが強い。
回　答　電柱に昇って行う作業は全体の 3～5%でほとんどは建築に関連する工事である。電柱に昇って行う専門の会社もあるので、就職先を決める時は確認した方が良い。
質問 3　手先が器用でなければ電工として難しいのでしょうか？
回答　確かに器用、不器用はあると思うが、ほとんどは慣れが解決してくれる。電工にとって、器用さも必要だが、センスも重要な要素の一つだと思う。そのセンスを育てるのが、多種多様な現場経験によって磨かれる。

その他、青年部員から高校生に以下のようなアドバイスがされた。

・パナソニックやトヨタに入社しても社長になるのは難しいだろう。しかし，電気工事業では将来独立し社長になる人がとても多い。
・体を動かし何かを作るのが好きな人は電工として。パソコンが好きで CAD で図面を書くのが好きな人は監督として。人の頭に立って会社を起こし社長になりたい人。電気工事会社と言っても色々な可能性がある。

⑷ 懇親会

・各県工組のアピールタイム。三重県は女装してＡＫＢ・・・。
・名刺交換大会開催した。数多く名刺を交換した人上位に景品プレゼント。など，趣向を凝らした，とても盛り上がった懇親会だった。

⑸ 所　感

・第２４回という実績の積み重ねが本会の企画，内容，そして実施に現れてると感じた。
・魅力ある電気工事発表では，各県全てがかなりの時間を掛けて創り上げた発表だった。しっかりと目標を見て考えているからだろう。
・高校生とのテーブルディスカッションは時間が少ない中，設問が多かったため，深まった話しが出来なかった。もう少し高校生の話が聞きたかったし，もっと想いを伝えたかった。
・懇親会，２次会とも青年部らしくメリハリがきいていた。真面目な齋藤会長自らが女装して楽しませるなど，全てに置いて全力投球とうい感じが伝わってきた。
・今回は堀口副会長の代理出席であったが，来年以降はこのような素晴らしい大会に北海道からも出来るだけ多く参加したい。限られた予算の中でどのように捻出していくか，今後の課題としたい。

魅力ある電気工事発表

高校生との意見交換会